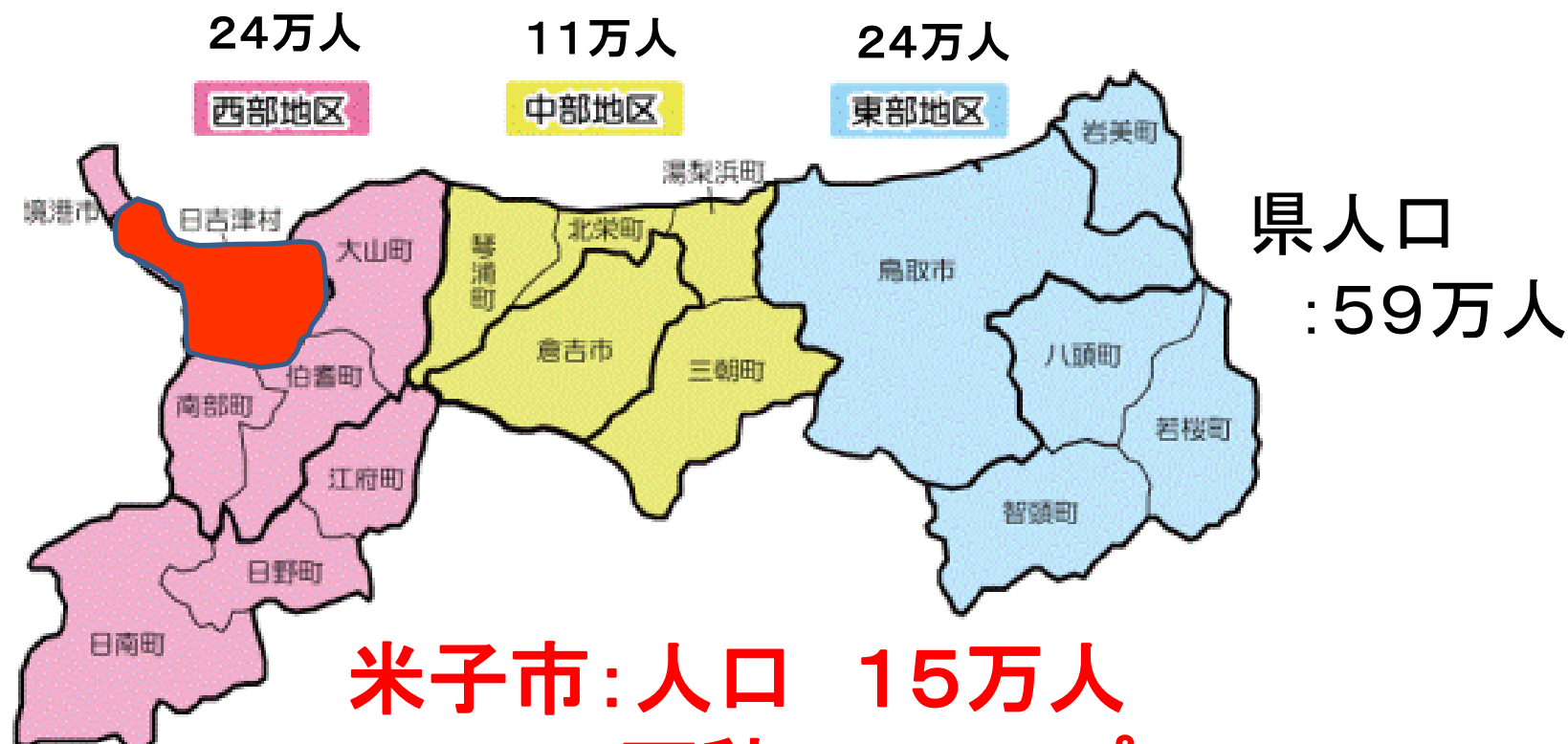


がん在宅医療を 更に充実するために



国立病院機構米子医療センター
山本哲夫

2013, 3, 23在宅医療連携拠点事業所成果報告会



	病床充足率(%)	病床(一般+療養)数	大学病院	当院	博愛病院	診療所数	診療所病床数
東部	107	2856	700床	380床	210床	204	204
中部	125	1399		250床		93	180
西部	129	2095			210床	236	446



「西部在宅ケア研究会」 発足の回想と今

顔の見える多職種連携の場は 10年以上前から設定されている

本会は、2000年に医療、保健、福祉が横断的に連携することが求められた介護保険制度の施行に合わせて、西部医師会が歯科医師会と薬剤師会の協力を得て立ち上げ、三師会から予算を頂いて運営されています。

何を目的とした会なのか？ 『在宅ケアに関わる多職種の人達が一堂に会する場を作りたい！、「円滑な連携を進め深める（顔見知り）場」、「情報交換をする場」、「研鑽をする場」を提供し知識を共有することによって、在宅療養をしている人のQOL向上に繋げたい！』そんな想いから発足した会です。

頃の新たな連携をめざして」をテーマにして5人のパネラーによるパネルディスカッション形式で開催しました。参加者がどれだけあるのか、大変不安でしたが、予想だにしない254人の参加者で駐車場は一杯となり、会場では中に入れない人が多数出て大慌てをしたことが鮮明に思い出されます。後日、当時西部医師会副会長であった細田庸夫先生から「参加者が少ないだろうと心配して行ってみたら、駐車場が満杯だったので安心して帰った。」との温かい連絡を頂いたことも嬉しかった思い出です。

当日の会についてアンケート用紙に頂いた感想の

参加医師の固定化！ 在宅医療に対する温度差

第1回：254名

年に 3～4回
46回

平均118人/回
1982名の個人

毎月世話人会

2000年
介護保険開始
医療、保健、
福祉の
横断的連携

医師会、
歯科医師会
薬剤師会
予算

発
宅ケ
や西
在宅

在宅医療と在宅看取りに関する実態調査
— 報告書 —

平成24年7月
公益社団法人 鳥取県西部医師会

在宅医療と在宅看取りに 関する実態調査

2012年4月に西部医師会
(在宅医療推進委員会)がアンケート
無記名、個人特定できない、非公表

訪問診療は、内科、外科のいずれかを
標榜する医療機関のうち76%が実施

上記以外の診療所医師は興味ない



在宅医療対応状況調査

拠点事業として看取り(がんも)、麻薬
処方等をホームページ上での公表前提、
内科、外科診療所対象、期間内に
回答無ければ診療所名も載せません

医療機関
住所
在り

110カ所郵送し、105カ所より回答

	がん患者の在宅の看取り	・対応している		・要相談		・していない	
	在宅の看取り	・対応している		・要相談		・していない	
	在宅支援診療所の届出	・対応している				・していない	
病院で開催される退院合同カンファレンス(多職種)への参加が可能な時間帯	○ または × で記入 (具体的な時間の希望があれば記載)		月	火	水	木	金
		AM	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談
		PM	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談
サービス担当者会議(ケースカンファレンス)への医師の参加	主治医の都合の時間で医療機関にて開催の場合	・30分以内なら可能		・15分以内なら可能		・困難	
	訪問診療に併せて開催の場合	・30分以内なら可能		・15分以内なら可能		・困難	
ケアマネ等と面会可能な時間帯(時間を記入)	月	火	水	木	金	土	
	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	
多職種への要望(連絡時の注意事項を含む)	・「病院で開催される退院合同カンファレンス」・「ケアマネ等と面会」・「多職種への要望」については適宜、電話等での事前調査にて対応します。お気軽に連絡ください。						

内科、外科診療所医師の対応状況

N=105

訪問診療	在宅看取り	がんの看取り	
○	○	○	37
○	○	△、×	12
○	△、×	△、×	35
△	×	×	11
×	×	×	10

ケアマネージャーへのアンケートと研修

11月に鳥取県西部地区の地域包括支援センター、
居宅介護支援事業所合計79カ所にアンケート送付
内容；ケアマネージャー対象、FAXで返送

1、医療連携で困ったことあるか

2、希望する研修

回答 173名

病院に対する要望多い

- ・特に、医師の対応、病棟看護師の介護保険への知識不足、認知不足など
- ・診療所の医師に行ったアンケート（在宅医療対応状況・かかりつけ医連絡法）とても良かった、活用している

同じ内容で、病院勤務医版を作ってほしい
実現困難？

地域包括支援センターとの意見交換会

2013. 1. 17

1、研修内容の決定

2、地域の病院の地域医療連携室への要望等

医療制度に関する研修を！

市内急性期病院の地域医療連携室と意見交換を！

急性期病院、地域医療連携室との 意見交換会

2013. 3. 8

病院の地域医療連携室の横の繋がり

医師への面談希望(ケアマネ)

⇔医師でないといけないのか？！



今年度 在宅緩和ケア実地研修

平成19年(2007)1月～より継続

7月 7日:リンパ浮腫、講義、実習	60名 (院外52)
7月12日:緩和ケア検討会 講義	79名 (院外31)
7月21日:がん看護研修 講義	61名 (院外25)
10月20日:抗がん剤の副作用と看護	22名 (院外10)
10月21日:ストマケアの基本	
— 講義、実習	35名 (院外29)
1月17日:4回にわたり無菌調剤について	
調剤薬局薬剤師への研修	(院外 5)
3月 3日:TPNポート使用の研修	(院外 12)

地域住民
120名参加

2012、12、16
日本海新聞

住民の意識改革



医師の意識改革

宣伝 啓発

在宅医療需要の増加

患者・家族の満足



事業者の増加 (医師、訪問、介護等)



質の向上

研修と理解

緩和ケア病棟 平成26年開設

